

出張授業で高校生に自衛隊の活動を紹介



自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 狩野圭2等陸尉）は、高校生に自衛隊の役割や活動について理解を深めてもらおうと、2月27日（木）、星槎高等学校（横浜市旭区）が主催した「企業出張授業」を支援した。

当日は1年生130名と3年生100名の230名が出席し、2グループに分かれての授業となった。募集案内所の広報官のほか、海上自衛隊厚木航空基地（大和市・綾瀬市）より衛生隊と警備隊、航空自衛隊武山分屯基地（横須賀市）より第2高射隊など18名の隊員が参加し、それぞれの分野で講師役を務めた。

授業では、最初に自衛隊全般及び各部隊それぞれの業務などについて説明した後、AEDを活用した救助体験、災害車両展示・説明、救難器材・防火服着用体験及び格闘（護身術）体験などの具体的な実習を行った。

一連の授業を終えると、生徒たちは「自衛隊についていろいろな話が聞けて楽しかった」、「AEDの使い方を確認できたから、もし困っている人がいたら助けられる」、「制服の胸に付いているバッジは何ですか」など、様々な感想や質問の声を上げていた。

横浜中央募集案内所は、「これからもあらゆる機会を利用して自衛隊への理解と認識を高めていきたい」としている。